

令和3年度 波佐見高等学校 学校関係者評価

1. 教育活動全般について【概ね良好】

学校評価で、生徒や保護者の満足度が高いという結果が出ている。保護者満足度が高いので、今後、さらに親の言葉で学校の良さが伝わるとよい。

社会人として働く上で、コミュニケーション力は大切だ。これまでやってきたコンプラ舎との活動のように、高校生が社会人やOBとの交流できる場があれば良い。現在実施しているインターンシップも効果的だと思う。今後も、人と関わりながらコミュニケーション力を養う活動を充実させてほしい。また、就職した卒業生の相談役など、フォローもしてもらえるとありがたい。

→地域連携等、人と関わる機会の充実を目指す。卒業生のフォローについては、年度当初にキャリアサポートスタッフによる企業訪問を行い、卒業生の状況等を聞き取る活動も行っているため、今後もできる範囲で支援していきたい。

毎年1月に町で意見発表が行われているが、波高生の発表が素晴らしい。ぜひ全生徒へ聞かせてほしい。

→文化祭で発表している。今後も継続する。

「棚田の恵み」の商品化が実現した。町を盛り上げるため、今後、陶器と合わせて販売するなどの工夫ができないか検討している。幕張で実施されるイベントにも持っていききたい。

→今後も販売促進の側面などから生徒が関わられるようにしたい。

2. 地域と連携した学校の在り方・学校PRについて【今後の課題：取組の拡充】

現在は中学段階でやりたいことが決まっている生徒もあり、第一志望が私立という子も増えているようだ。公立後期まで受検しないという実態がある。学校の特色を明確化し、PRを充実させてほしい。

波佐見町から波佐見高校が無くなっては困る。町が波佐見高校を支援することに町民の理解を得るためにも、もっと波佐見高校の取組を知らせてほしい。

→R3年度、町内回覧板を利用した学校通信の回覧、波佐見ケーブルテレビと連携した学校紹介動画の放映などの取組を開始した。

→2月初旬、学校PR動画を郡内の中学生へ限定公開した。2月に波佐見中1・2年生対象の説明会を企画していたが、コロナのために中止となった。今後も効果的な時期と対象学年を検討する。

3. 地域との連携等について 《外部評価者からの要望・提案》

美術・工芸科について、今までの生徒作品など、高校生の作品を波佐見町内で展示・紹介してほしい。歴史文化交流館の活用もできる。

今後の取組として、大学との連携をやってほしい。大学教授が高校で授業するなど、魅力的な取組になると思う。

→地域における学校の役割をあらためて考え、ニーズにこたえられるよう努めたい。